



ふれあいの丘 天文館だより



【天文情報】

『ペルセウス座流星群が極大を迎えます』

ペルセウス座流星群は、毎年、安定して多くの流れ星を見せてくれる3大流星群の1つですが、今年は8月12日の夜半前頃から13日の夜明け前にかけて、出現数がピーク(極大)になると予想されています。慣れた人だと1時間に数十個の流れ星を見ることができます。

今年は、極大の時には月が西の地平線に沈んでいて月明かりに影響されないことや、放射点のあるペルセウス座が北の空高くに昇っていることなど、好条件に恵まれています。ぜひこの機会に流れ星をたくさん見つけてください。



天文館では、8月12日(月)午後8時から11時まで、ペルセウス座流星群の観望会を予定しています。詳しくは広報おたわら7月号、またはホームページをご参照ください。

【天体写真講座】

『一眼デジカメで秋の星空を撮ろう』

- 日時 1回目：9月8日(日)、2回目：9月15日(日)
いずれも午後6時30分～8時15分
 - 内容 「デジタル一眼レフカメラの経験はあるが、星の写真は撮ったことがない」という方が対象です。望遠鏡など専用の機材を使わなくても撮影することが可能です。一般のカメラ機材でどこまで星の写真が撮れるか試してみませんか。
 - 対象 中学生以上で、デジタル一眼レフカメラ一式(三脚、レリーズ含む)を所有しており、2回の講座を受講可能な方。中学生、高校生は保護者同伴。
 - 定員 10名
 - 参加費 中学生：1名200円 大人：1名600円
(2回分の入館料として)
 - 申込方法 開館日の午前9時～午後9時の間に下記まで電話で申し込み
- ※当日の天候により内容を一部変更する事があります。

問 ふれあいの丘天文館 TEL (28) 3 2 5 4

申 詳しくは

ふれあいの丘 自然観察館だより

自然観察館では「世界のクワガタ・カブト展」を開催し、珍しい世界のカブト・クワガタの生体を約20種も展示しています。この時期だけの企画ですので、ぜひ実物の姿をご覧ください。

●アジア最強のコーカサスオオカブト

オスは3本の長い角が特徴で、体長も60～130mmとアジア最大のカブトムシです。性格は好戦的で、世界最強ともいわれ、子どもたちに人気があります。



コーカサスオオカブト

はさむ力も強く、ツメも鋭いので取り扱いには注意が必要です。スマトラ島・ジャワ島・マレー半島などの高山地帯に生息しています。体色は黒褐色で光沢があり、成虫は3～4カ月生きます。ほぼ同じ地域に生息するアトラスオオカブトに形態は似ていますが、一般的にコーカサスオオカブトの方が大きく成長します。

●黄金色のクワガタもいます！

好評だったオウゴンオニクワガタを今年も展示しています。このクワガタは東南アジアのスダランドと呼ばれる地域に生息し、2種3亜種が知られています。いずれも黄金の金箔をはったような神々しい姿をし、

愛好家の人気が高いようです。

以前は飼育が困難とされていましたが、飼育法が改善され、人工飼育も可能になり、日本でも多くみられるようになりました。



オウゴンオニクワガタ

☆子どもに大人気「ふれあいコーナー」

今年も子どもたちが大好きなカブトやクワガタと自由に遊べるコーナーを開設しています。いつの時代も同じで、子どもたちは夢中になって遊んでいます。どうぞ夏休みの思い出づくりにご活用ください。(～8月31日)



☆甲虫紹介(1)

船山コレクション展で展示した主な甲虫を紹介します。

右の写真は世界中で、御蔵島・神津島にしか生息しないクワガタで、体長約3cm、ほとんど飛ばずに林床を歩いています。現在は数が減少し、採集が禁止されています。



ミクラミヤクワガタ

問 ふれあいの丘自然観察館 TEL (28) 3 2 5 1

詳しくは